

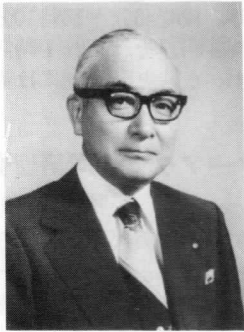


# ロータリーを通じて 世界理解と平和を



WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY

会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 迎田 稔 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 横田庄司 青少年奉仕 佐藤順治  
出席報告：会員 69 名 出席 61 名 出席率 88.41 % 前回出席率 84.06 % 修正出席 64 名 確定出席率 92.75 %



1982～1983年度  
国際ロータリー会長  
向 笠 広 次 氏  
(大分県・中津R.C出身)

## 次年度国際ロータリーターゲット決まる

### “人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう”

MANKIND IS ONE-  
Build Bridges of Friendship Throughout the world

### 人類はひとつ 友情の橋をかけよう

親愛なる同僚ロータリアン諸君：

人類はひとつの大きな家族一すべての人間、すべての国民を含むひとつの大きな家族です。全家族の平和と幸福がなければ、個人の平和と幸福はあり得ません。

世界の平和と幸福は全人類の共通の願いである筈です。しかし、不信と猜疑が障害となって、人々が他の人々と分かち合い助け合うことを妨げています。人々が人類はひとつであることを認識する時、親睦、友情、寛容の心が生まれ、この障害に打ち勝つ力となるでしょう。

従って、ロータリーを通じて世界中に友情の橋をかけようではありませんか。そうすることによって不信と猜疑は取り除かれ、障害は克服されそして世界の平和と人々の幸福が実現するでしょう。

- あなたのクラブにおいて一真の友情と友好的な行動の基礎として知り合いと親睦を深めることによって。
- クラブの会合に出席することによって。
- 新会員を導入することによって。
- クラブの計画と活動に加わることによって。
- あなたのクラブの同僚達と意見や関心を分かち合うことによって。
- あなたの職場においてロータリーの職業奉仕の理想を言行に示すことによって。
- あらゆる有用な職業に対する尊敬の念を植えつけることによって。
- 若人達に職業に関する情報を与え職業決定の指導をすることによって。
- あなたの地域社会において一地域社会の人々と思いやりの精神を分かち合うことによって。
- 他人というのはまだ会ったことのない友人であることを認識することによって。
- 地域社会の中にあるへだたりを取り除くことによって
- 老人、障害者、不幸な人々を助けるよう献身することによって。
- インターアクト、ローターアクト及びRYLAを通じ青少年と共に奉仕することによって。
- 世界中に国際理解、善意と平和が真に起こり得るものであることを示すことによって。
- 他人が友人となるのを助け、対立する者が仲間同志になるのをうながす諸計画、即ちロータリー財団、3-H計画、世界社会奉仕、組み合わせ地区及びクラブ・プログラム、青少年交換、姉妹クラブ或は姉妹都市、国際共同委員会及びその他の計画を推進し向上させることによって。

庄内に空港を建設しましょう

## 会長スピーチ

- 5月30日、庄内地区インターアクトクラブ合同研修会が産業会館5階で行なわれました。秋野君の話によると鶴岡I.C.はあまり活動してなく、期末になって何とか形をつけるために行なわれた感がありました。先月、福島でI.C.のリーダー養成研修会が行なわれ鶴岡高専・鶴工業の会員が何人か出席し、それが契機で行なわれたようでした。

そもそもI.C.はR.C.の指導で行なわれるべきでなく、独自の活動が好ましいと考えて居ります。私はゲストとして約40分程講演して参りました。クラブからは中江君、内山君、菅原君、佐藤順治君、藤川君、秋野君が出席しました。I.C.の活動というのは公園、海浜、等の清掃、児童ホーム・老人ホームの慰問、その他子供と一緒に遊んでやる等です。これまであまり活動してなかったのですが、この会合が機会では何か始まる気配でありました。ちょっとした問題点は、R.C.と関係ありながらR.C.会員との接触の機会が大変少ないという事で、ソフトボール大会等R.C.会員とやれたら等の希望が出て居りました。

- 次年度のターゲットが決まりました。後で中江さんから説明があります。

## 委員会報告

中江君

- 来たる6日(日曜)山菜とりを行なう企画、人数が大変少なく22名です。費用は1,500円という事で大変安いのですが素晴らしい計画ですので、これからでも奮って参加をお願いします。
- 石黒ノミニエから絵葉書が来て居りますので読みます

“I.C.M.での皆さんの絶大な激励に感激し、22日。午後6時過ぎ日本を離れ、日付変更線を通過し同日午前10時にサンフランシスコに着きました。まだ時差ぼけ気味です。23日はシカゴに参りエバンストのR.I.本部を訪ねたいと思います。28日は国際協議会のハードスケジュールを前に目下旅情を楽しんで居ります。会員の皆さん、次年度の活動を前にしばしご自愛を祈ります。まずはお礼少々 敬具”という事です。

- ターゲットに就いては、先程地区の方より貰ったばかりで内容を読んで居りません。要は世界はひとつ、世界中の人は皆家族だという事になるようです。くわしくは会報に載せますので読んで下さい。

## 地区協議会の記録についてお願い

小池君

直接関係ない方も居られますので申し訳ないの

ですが、本来ならば私共のクラブからノミニエを出して居りますので、私共がここ鶴岡で責任を持って全て運営するべきなのですが、たまたまホストクラブを天童になってもらった関係上、私共のクラブで記録を担当するという事になった訳でございます。

会長・幹事会を含め20日に8つの分科会が持たれます。大変一方的で申し訳ありませんが前例会で小松さんからお願い申し上げた方々に記録をとって戴きたいのです。

20日10時30分～12時、12時40分～14時10分まで午前の部・午後の部の2回、それぞれ1時間半テープにとって戴きます。もっと具体的には尚合会を持ちます。

## 庄内地区インターアクト合同研修会

秋野忠君

30日、鶴岡産業会館で第2回(1回目は3～4年前)の研修会が鶴岡高専がホストで開かれました。これは今年度I.C.委員会としての事業計画にもない事で、全て生徒が準備を行なったものです。私I.C.委員長として何も判らず、低迷を続けて居りましたので渡りに舟と参加した次第です。

研修会のテーマとしては、インターアクトの意義と認識を含めるという事でして、出席メンバーは鶴岡工業、鶴岡高専、鶴岡西、温海高、酒田天真高の44名でした。各学校の顧問教師も出席しましたが、全て生徒の手によって運営され、考えた以上に素晴らしい会合になったと思えました。

初めに新穂会長より、ロータリークラブとインターアクトクラブの関わりというテーマで約1時間基調講演があり、その講演を基に、午後より5つの分科会(各7～8名位)が持たれ討論がなされました。

内容はその内報告しますが、ダランない代名詞みたいに云われる高校生ですが、実に真面目で真剣であり、テーマを離れ“世界平和”とか、“インターアクターとしての世界への貢献はどうあるべきか”等、高度な討論がされた事でした。

インターアクトとロータリアンの接触を深めるため球技大会等どうか等の話しもありました。

今回のホスト校は天真高校で10月頃開かれるようです。

## ビジター

(鶴岡西R.C.) 加藤有倫君、鈴木昭吾君、半田茂弥君、佐藤成生君、瀬尾助三郎君、阿部光男君、長野正彦君、本間文一君

(今週の担当者 石井敬三)